

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2022年10月24日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社ウインテック
所在地	神奈川県横浜市中区3丁目63番地1
代表者役職・氏名	代表取締役 菊地 正己
担当者連絡先	電話：045-225-9565 (担当：辻村)
	メール：tsujimura@wintec-yok.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.wintec-yok.co.jp/ SDGsへの取り組み (https://www.wintec-yok.co.jp/SDGS.html)

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>1993年に設立し、船舶代理店業務、輸出入に関する船荷証券の作成、積荷目録の作成等、港湾に関するドキュメント作成事業を行っております。</p> <p>また、貿易業務支援装置”Will” (特許第:6247914号)のレンタル、港湾業務に関するソフトウェア開発等、システム面での港湾業務のサポートを提供しております。</p>
--

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	貿易業務に於けるシステム化の推進、RPAの導入により、ペーパーレス化と効率化を実現し、生産性の向上に取り組んでおります。	原本性を求められない書類の完全ペーパーレス化
✓環境 ✓社会 □経済	働き方改革を進め、従業員に魅力のある職場作りに取り組んでおります。	時間外労働ゼロ、年次休暇取得率100%
□環境 □社会 ✓経済	港湾物流全体の生産性向上を目的として、民間事業者の港湾物流手続を電子化するCyber Portの導入・推奨をしています。	様々な港湾業界における電子化を促進するシステムとの連携・導入を実施

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	雇用、教育、昇進、登用等、あらゆる雇用条件に於いて差別をしない体制を構築しております。経営陣はその体制に積極的に関与しています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	SC(ストレスチェック)事業課が社内にはラスメント専用窓口を設置しており、年に一度ハラスメントに関するルール、教育を全社員対象とした説明会を行っております。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	役員による毎月の労働時間の監視を行っております。36協定に準じて、臨時的な特別の事情が無い限り45時間以上の時間外労働を行っておりません。テレワーク、フレックス制度を導入しており、労働以外にも通勤時間による拘束等の削減にも取り組んでおり、働き方改革を進めております。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	外国籍労働者と日本籍労働者による雇用条件の差月、人権侵害は一切ありません。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	従業員の安全を配慮した事務所レイアウト作り、災害時の避難訓練は年に一度ビルメンテナンス業者主催で取り行われており、積極的な参加を行っております。			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	年に1度、ストレスチェックを実施しております。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	管理職の50%が女性であり、年齢、国籍問わず活躍ができる環境を整えております。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	社内の教育訓練制度により、資格取得、外部・通信研修の受講に関する費用を一部もしくは全額補助しております。				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	同一労働同一賃金の原則に従い、一律で正規社員とした雇用を原則としています。従業員のライフサイクルに合わせて、希望者にはパートタイム労働が選択できます。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	年に1度の健康診断を全社員対象に実施。また、要再検査者に対しては再検査を促すようにしております。インフルエンザワクチンについては一部もしくは全額補助を行っております。			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	FAXの出力、原本を必要としない書類のPDF化やインターネットFAXの導入により、大幅なペーパーレス化を実現させました。										11.6	12.4 12.5		14.1				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
12	【エネルギー】 ・ 自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	自社で使用する電気使用量を把握し、窓を開ける時間、空調を入れる時間と分けて、室内温度の調整と換気を徹底しております。 使用していないPC,複合機は事務所勤務者による声掛けで電源を落とす事で、プライバシーの管理とエネルギーの節約を行っております。							7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・ 自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	複合機の使用台数の削減を検討しております。							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3				11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6								15			
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	リサイクル資源とゴミの分別を徹底し、リサイクル可能なものはリサイクル専用の業者に引き取って頂いております。							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	自社で購入する用紙は再生紙を推奨しております。											12.2	13	14	15			
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	社員が使用するPCには、セキュリティソフトを導入しており、自社開発のWEBシステムには、脆弱性を突いた攻撃に対するセキュリティ対策を行っております。			3.9									12.4					
	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	積極的なIT化を進め、品質、業務効率化の向上を図っております。										9							
	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	お客様に提供するサービスは環境に配慮し、ファイルで提供するように設計しております。							6					12	13	14	15		
	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	貿易業務に於ける、多様な書類をデータ化し、一元管理を行えるシステム開発、展開を行っております。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

(様式第 4 号)

令和 5 年 12 月 15 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 神奈川県横浜市中区相生町 3 丁目 63 番地 1

名称： 株式会社ウインテック

代表者： 代表取締役 菊地 佳典

登録年月日： 令和 4 年 12 月 23 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	貿易業務に於けるシステム化の推進、RPA の導入により、ペーパーレス化と効率化を実現し、生産性の向上に取り組んでおります。	原本性を求められない書類の完全ペーパーレス化	2023 年 4 月に複合機 2 台をリース返却し、電気消費量、紙の消費枚数の削減を行いました。
✓環境 ✓社会 □経済	働き方改革を進め、従業員に魅力のある職場作りに取り組んでおります。	時間外労働ゼロ、年次休暇取得率 100%	年次休暇の取得を促し、全社員が年間 5 日以上の子休取得達成。(12 月現在)
□環境 □社会 ✓経済	港湾物流全体の生産性向上を目的として、民間事業者の港湾物流手続を電子化する Cyber Port の導入・推奨をしています。	様々な港湾業界における電子化を促進するシステムとの連携・導入を実施	自社開発システム Will と Cyber port の一部機能の連携、ランディングページを作成し、港湾業界における DX 化の促進を行っております。